



自分のまちが好きになる アニメーターと行く、 御畳瀬でロケハン！ 【3】

◆ 今日の授業は…

今回も雲一つ無い晴天の中、第3回目の授業が始まりました。

前回のフィールドワークで受講生が制作した作品が、黒板に貼りだされています。まずは、作品鑑賞の時間を設けました。

地域に昔から住んでいる人、ほぼ初めて訪れる人、昔住んでいて帰ってきた人…受講生みんなのバックグラウンドが異なるからこそ、作品の着眼点もそれぞれ。

自分以外の受講生がどんな風に関心を感じ、どんな風に関心を書きこんでいるか、自分とはどう違うのか。みんな真剣に見つめています。質問すると、写真の裏側に隠れたエピソードを、嬉しそうに口にする受講生も。「ここは昔、お米屋さんだったけれど、駄菓子も売っていたから子どもたちが集まって賑やかだったんだよ」…そんな口頭で伝えられるエピソードも、作品に落とし込むことができれば、さらに「伝わる」作品になりますね。



その後、講師の緒川マミオ先生の講評もいただきました。まずは、それぞれの受講生の写真の特徴、目線の違いなどに着目。たとえば、一見何気ない路地を撮っている写真は、洗濯物が写っていることで、規模感や生活感が伝わること。また、閉店した

お店のシャッターの前に猫がいる写真は、正面からではなく後ろから取ることで、猫の気持ちが伝わるような、寂しいけれど優しい目線の作品になっていること。

一つ一つ、マミオ先生が言葉にすることで、受講生たちは、意識していなかった「自分の目線」に、気づいていくようでした。

「自分の感じたままの視線で、写真を撮って思いを書き留めて欲しい。また、地域で聞いた大事な話やその時に感じた気持ちを、消えないようにしっかり書き留め、他の人にも伝わるように作品に落とし込んで欲しい」とのお話がありました。

講評を通じ、普段は知ることができない他者の世界観に触れられたようで、受講生たちの中で何かが変わったように思えました。

◆ 自由に外に出て、見て、感じよう

今回は、もう一度フィールドワークをして、作品を作ります。これは「一回目のフィールドワークと講評を通じて得た知識と気づきを持って、違った視線でもう一度地域を見つめてほしい」という意図で行うものです。



今回は、受講生たち、それぞれ気になった場所を自由に散策し写真に収めていきます。新たに3色の付箋で「事実・わかったこと」「自分が感じた想い」「そこからイメージしたこと」を整理して書き留めることで、より一層、見た人に「伝わる」成果品を作ることを意識しました。

晴天に恵まれ、受講生たちは思いのまま出発しました。普段はあまり気にしない路地を歩いたり、細い道なき道を冒険したり、時には猫になりきり猫の目線で歩いてみたり、それぞれのロケハンを楽しみました。

◆ もう一度、感じたことを言葉にしよう

1時間のフィールドワークを終えて、受講生たちは教室に戻り、作業に入ります。作業内容自体は前回と同じですが、違っていたのは地域の見つめ方です。一回目は自分の目線で地域を回っていた受講生が多かったようですが、今回は自分の中でテーマを設定し、



前回とは違った視点で散策しました。それぞれ自由な発想で地域を見つめることができ、また新たな3色の付箋（「事実・わかったこと」「自分が感じた思い」「そこからイメージしたこと」）により、深く思いを整理する事ができたようです。

◆ 受講生たちの気づき

残り時間もわずかとなり、受講生たちに今回の感想を聞きました。

「一回目は漠然としてたけど、二回目は整理できたので、作品の精度が上がった。」

「一回目は珍しいものを写真に撮ったが、二回目は『これぞ御畳瀬』という風景にした。」

「猫の目線にしたら、より色んなものに目があって、色んな発見があった。」

「一回目も猫だったから、猫をテーマにした続き物として二回目も考えた。」

「一回目は小説の主人公目線で作品を作ったが、二回目はフラットな気持ちで取り組んだ。どちらにもそれぞれの良さがあった。」

など、二回のフィールドワークと作業で、たくさんの気づきがあったようです。

同じ場所を歩いても、意識するとモノの見方が違うこと、自分が本当に好きなモノが見えてくること、人に伝えたいことがたくさんあること。あと、受講生は猫好きが多いということも見えてきました（笑）

◆次回予告

授業終わりに、マミオ先生から「お家で一人になって、もう一度作品を見つめ直してきてほしい」との言葉がありました。

今回は、これまでの授業で作った作品をよりブラッシュアップし、完成させます。

いよいよ授業も佳境です。最終回の成果発表では、制作した作品の展示とフォトブックの制作を予定しています。受講生たちは、この授業でどんな「目」を養ったのでしょうか。全てを作品に落とし込み、見た人に「伝わる」ものを目指したいですね。